

- 東大和市では、市内の公園の老朽化対策として、国産材を活用した木製遊具や木製ベンチなどの公園施設への更新に取り組んでいる。
- 令和5年度は市立公園の末広公園の改修工事に併せて、木製遊具2基、木柵約70m及び木製ベンチ4基を設置した。

事業内容

1 末広公園改修工事

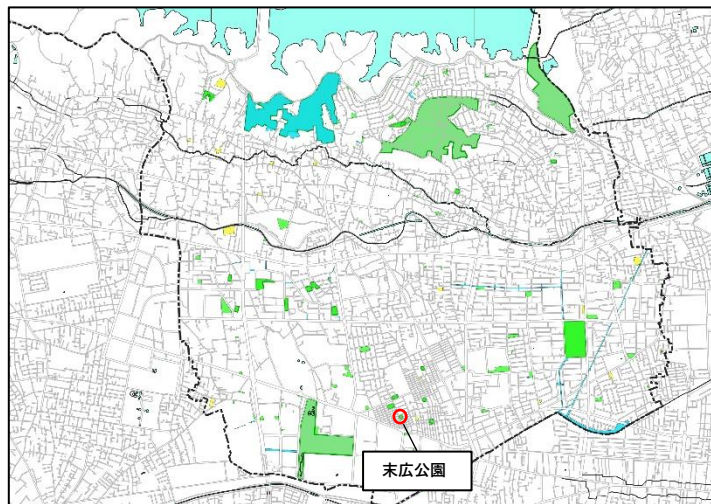
- 市立公園の末広公園に国産産の木材を使用した、木製遊具2基、木柵約70m及び木製ベンチ4基を設置した。

【事業費】77,219千円（うち譲与税8,782千円）

【実績】木材使用量 3.96m³

取組の背景

- 市内には、100箇所以上の公園があり、その大半が整備からの相当年数経過しており、施設の老朽化及び更新が課題となっている。
- 平成29年度から、公園施設の安全点検が法令化されており、基準に基づき遊具等の更新をしなければならない状況化である。



（1：東大和市内公園配置図）

工夫・留意した点

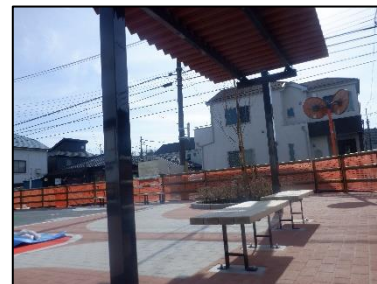
- 末広公園改修工事は、公園全体の改修であったため、木製複合遊具の設置位置等に工夫が必要だった。
- 木柵は、安全性及び耐久性を有した仕様とするため、製品の選定が容易ではなく、様々なメーカーの製品を調査した。

取組の効果

- 公園の全面改修とともに、木製遊具等が設置されたことにより、他の公園との差別化を図ることができ、市民の方々に、魅力ある公園を提供すると共に、地域の活性化にも大きく貢献した。



（2：児童用木製複合遊具）



（3：木製ベンチ）

基礎データ

①令和5年度譲与額：8,782千円		②私有林人工林面積（※1）：2ha	
③林野率（※1）：15.1%	④人口（※2）：83,901人	⑤林業就業者数（※2）：2人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より